

4 交通事業会計

[概要]

令和 2 年度交通事業会計予算は、業務の予定量として、乗合事業については、稼働バス台数 18,567 台、走行キロ数 2,765 千km、輸送人員 2,295 千人を、貸切事業では、稼働バス台数 1,129 台、走行キロ数 129 千km、輸送人員 38 千人を見込み、これらに必要な諸経費及び運送収入等を計上しました。

これにより、収益的収支については、自動車事業収益の 999,066 千円から消費税及び地方消費税分 40,642 千円を控除し、自動車事業費用の 985,931 千円から消費税及び地方消費税分 29,058 千円を控除した結果、当年度純利益は 1,551 千円となり、当年度未処分利益剰余金は 20,911 千円となる見込みです。

また、資本的収支については、収入は、企業債等を計上し、支出は、ノンステップ型路線バス 1 台の更新等に要する建設改良費と企業債償還金を計上しました。

その結果、資本的収入 23,600 千円に対し、資本的支出は 97,840 千円となり、収支差引 74,240 千円の財源不足となる見込みですが、これは、損益勘定留保資金等で補てんすることとしました。

[収益的収支及び資本的収支]

収益的収支

項 目		予算額(千円)
収 入	乗合収入	509,658
	貸切収入	71,930
	その他収入	417,478
収 入 計		999,066
支 出	職員給与費	659,465
	燃料・油脂費	81,715
	車両修繕費	45,506
	減価償却費	71,023
	その他支出	128,222
支 出 計		985,931
差 引		13,135
消費税及び地方消費税		△ 11,584
当年度純利益 (△は当年度純損失)		1,551
未処分利益剰余金 (△は未処理欠損金)		20,911

資本的収支

項 目		予算額(千円)
収 入	企業債	23,000
	固定資産売却代金	600
収 入 計		23,600
支 出	建設改良費	51,555
	企業債償還金	46,285
支 出 計		97,840
差 引		△ 74,240

資本的収支差引不足額は、損益勘定留保資金等で補てんします。